

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第45週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第35週から増加傾向が認められ、第45週も増加した / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は記事はありません >



病原体情報
P.5-6

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン / インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.7-8

ドイツにおけるインドからの狂犬病輸入例 / スペインで、黄熱ワクチン接種後に死亡した患者の報告



感染症の話
P.9-11

< 疥癬 > 近年わが国では病院、老人ホーム、養護施設などで集団発生の事例が増加している



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(45週)
P.12-18



45週のデータ
P.19-28



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第45週コメント > 11月11日集計分

全数報告の感染症

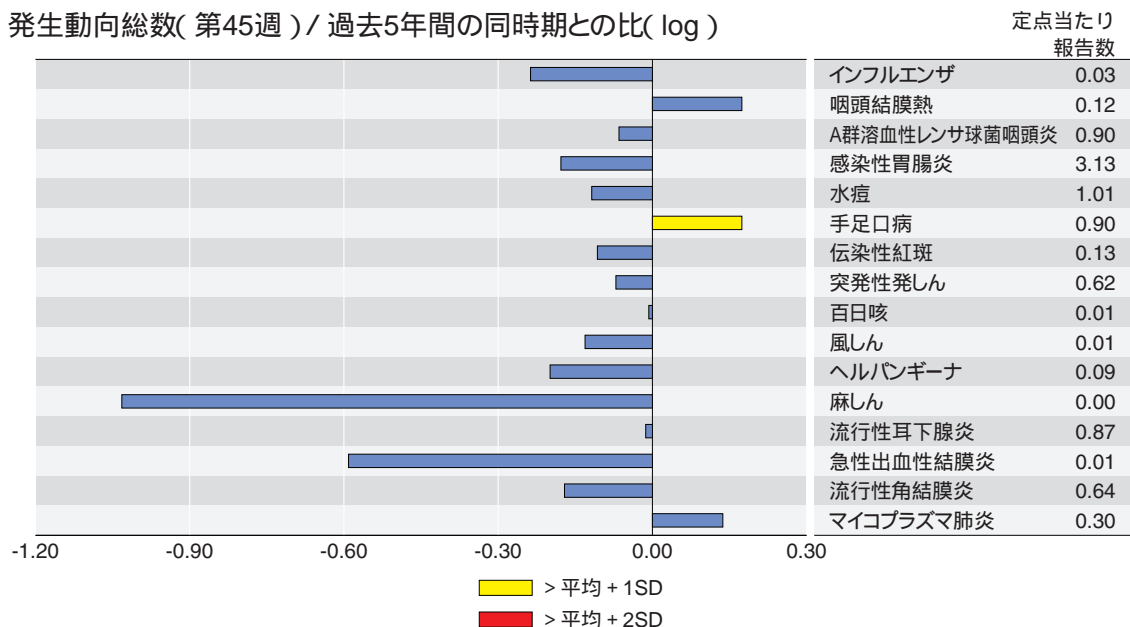
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: インド)
細菌性赤痢 5例(推定感染地域: 国内2例、タイ1例、アラブ首長国連邦1例、エジプト1例)
パラチフス 2例(推定感染地域: インドネシア1例、バングラデシュ1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 35例(うち有症者23例)
報告の多い都道府県: 兵庫県(7例)、大阪府(4例)、佐賀県(4例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 25例)、O157 VT2 3例)、O111 VT1(2例)、O26 VT1(1例)、O63 VT2(1例)、その他(3例)
年齢: 10歳未満(15例)、10代(1例)、20代(2例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(2例)、60代(5例)、70歳以上(7例)
- 4類感染症: つつが虫病 1例(大分県)
デング熱 2例(推定感染地域: タイ1例、ブルキナファソ1例)
レジオネラ症 6例(50代3例、70代3例)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 5例
推定感染地域: 国内4例、不明1例
推定感染経路: 性的接触(異性間)2例、不明3例
ウイルス性肝炎 3例
(いずれもB型) 推定感染経路: 性的接触2例、不明1例)
後天性免疫不全症候群 9例(無症候5例、AIDS 4例)
推定感染経路: 性的接触8例(異性間1例、同性間6例、異性間同性間不明1例)、血液製剤1例
推定感染地域: 国内7例、タイ1例、パラグアイ1例
ジアルジア症 1例(推定感染地域: インドネシア)
梅毒 6例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候2例)
破傷風 1例(70代)
急性脳炎 3例(いずれも病原体不明、70代1例、80代2例)
(補)他に、アメーバ赤痢1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、E型肝炎1例(推定感染地域: 国内)、急性脳炎1例(単純ヘルペスウイルス、20代)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第45週) / 過去5年間の同時期との比(log)



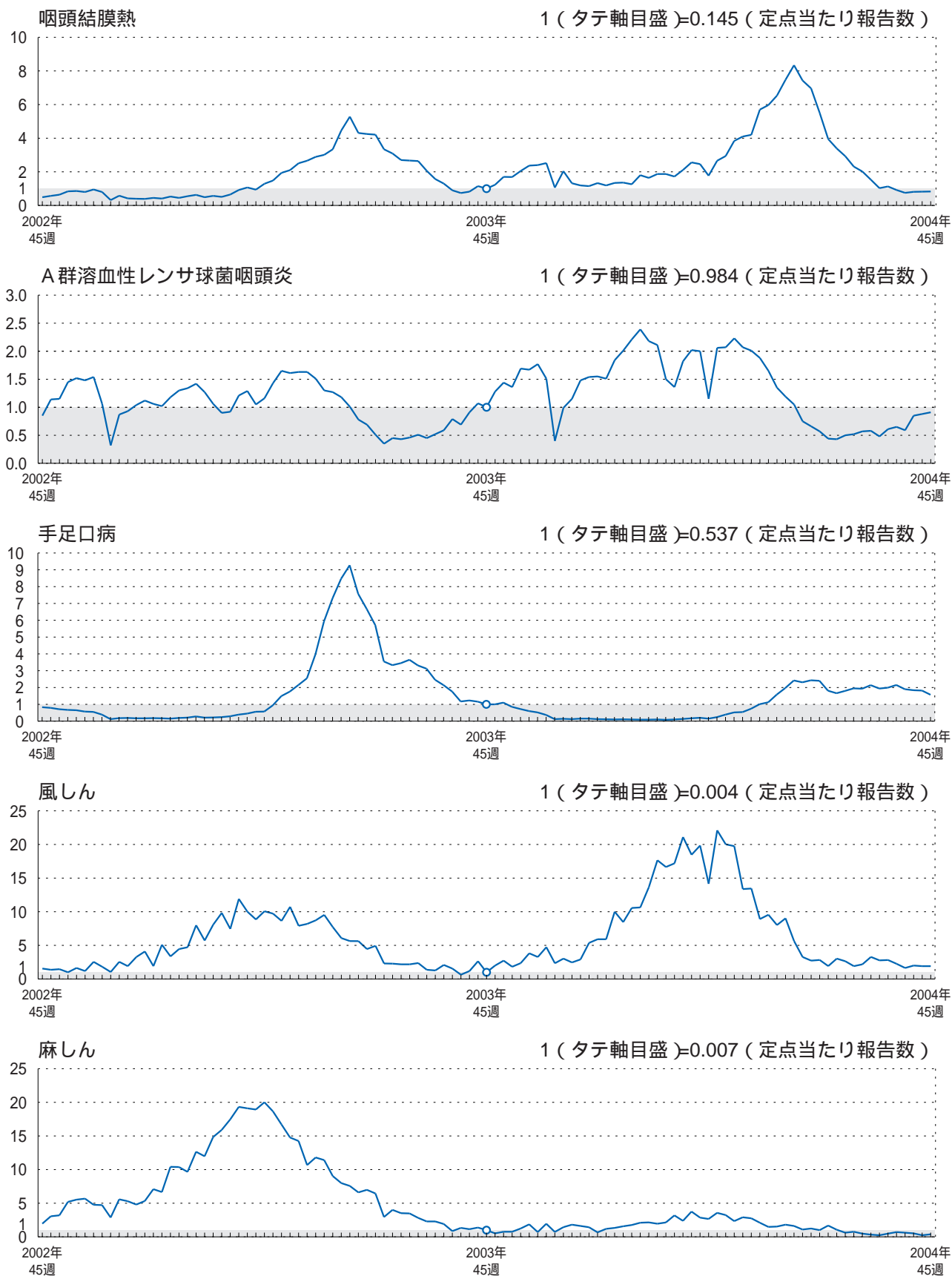
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週に過去10年間の全ての週と比較して最高値となった後、第29週まで最高値を更新し続けた。その後、第40週の微増を除き、減少を続けたが、第43週から再び微増している。都道府県別では福井県(0.8)、徳島県(0.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けた後、第35週からは増加傾向が認められ、第45週も増加した。都道府県別では山形県(2.1)、北海道(1.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いた後、第31週からはほぼ横ばいで推移したが、第43週から微増している。都道府県別では愛媛県(6.8)、福井県(6.3)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では福井県(3.1)、宮城県(2.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加した後、第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週に微減したが、その後再びほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では宮城県(6.8)、福井県(4.0)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、都道府県別では13都道府県から報告があったが、いずれも0.1未満であった。麻しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。4都道府県から報告があったが、定点当たり報告数はいずれも0.1未満であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて32都道府県から報告がなされ、報告数は合計151例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では岡山県(2.2)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第45週)

2003年第45週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

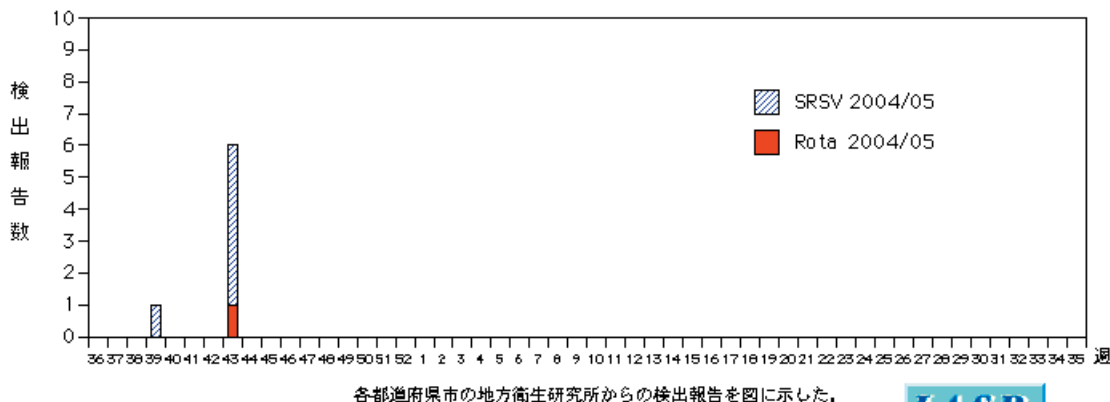
(2004年11月12日現在報告分)

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)が6件報告されている。今シーズン初めての報告として、第39週に愛媛県の小児散発例からノロウイルスGIが1件検出された。その後、第43週に大阪府からノロウイルスGIIが5件報告され、うち4件は小児の集団発生事例からの検出である。また、今シーズン初めてのロタウイルスの検出が、第43週に大阪府から1件(A群)報告されている。

この他に、9月に飲食店で発生したノロウイルス(GI、GII)による食中毒事例が青森県から報告されている(IDWR2004年第43号9ページ速報記事参照)。

週別SRSV&ロタウイルスの検出報告数、2004/05シーズン (病原微生物検出情報：2004年11月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

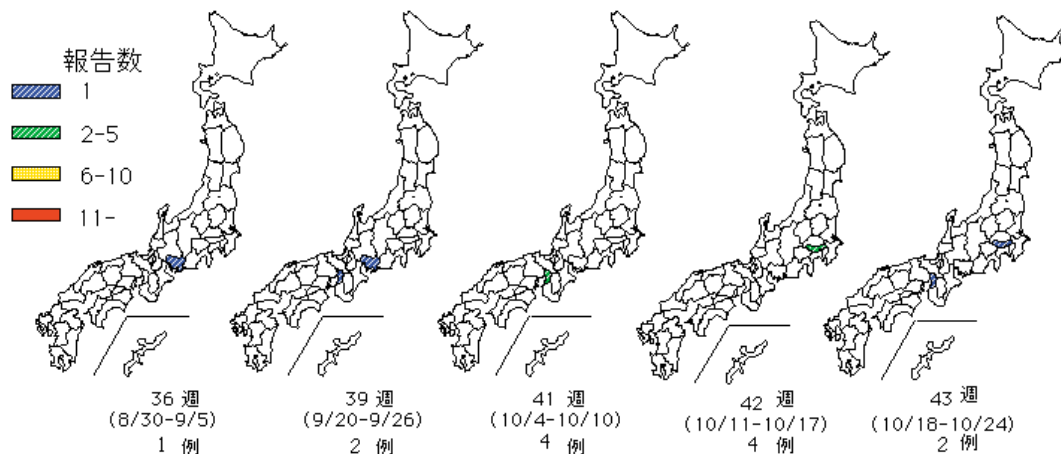


Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

これまでにAH3型13件の分離・検出が報告されている。今シーズン初の分離は愛知県からの報告で、2004年9月5日(第36週)に採取された中国への渡航歴のある成人の検体から1件(IDWR2004年第42号13ページ速報記事参照)が分離された。その後、第39週に再び愛知県で中国への渡航歴のある成人から1件が分離された。大阪府では9月21日(第39週)に採取された5歳男児の検体から1件(IDWR2004年第39号11ページ速報記事参照)、第41週に小学校の集団発生事例と家族内事例から4件(いずれも府内の隣接した地域、IDWR2004年第40号9ページ速報記事参照)、第43週に1件の分離が報告されている。また、東京都では第42週に幼稚園における集団発生事例から4件(うち3件はPCRによる検出)、第43週に1件の分離が報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルスA (H3) 分離・検出報告状況、2004/05シーズン
(病原微生物検出情報：2004年11月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

現在までの検出総数は1,242件で、うちO157が774件、O26が260件、その他の血清型が208件報告されている。第40週(9/27 ~)から第43週までの週別報告数は、O157が11、8、4、1、O26が10、6、1、2である。

最近ではO157が第42週に福岡県(VT1&2が2)、東京都(VT2が1)、群馬県(VT1&2が1)、第43週に宮城県(VT2が1)から、O26が第42 ~ 43週に富山県(VT1が3、同一家族内)から報告されている。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ドイツにおけるインドからの狂犬病輸入例

Eurosurveillance weekly 2004年11月11日

狂犬病輸入例が最近ドイツで報告された。2004年5月初旬、バイエルン地方出身の51歳男性がインドへの5カ月間の渡航から帰国して6週間後に発病した。この男性はインフルエンザ様症状、衰弱、発熱、倦怠感を呈していた。彼はインドで下層階級の生活状態で過ごし、野犬と接触があった。以前2001年にもインドに渡航歴があり、その際野生のサルによる咬傷を負った。

2004年5月6日、この患者は右肩と右腕に痛みを感じた。5月7日に恐水症、恐気症、咽頭痙攣を発症した。5月9日までに意識を失い、吐血した。その日、脳炎あるいは狂犬病感染を疑われ、近所の病院の集中治療室に入院した。患者を治療した医師団はこの時点で狂犬病を疑った。

入院後には急速に呼吸困難が進行した。存命中、狂犬病の疑い診断を確定するための様々な検査が実施されたが、こうした検査は全て陰性であった。患者は5月29日に死亡した。剖検担当の検査室の支援によって、暫定的に病理学的解剖学的な狂犬病の診断がなされた。最終診断については、2カ所の専門狂犬病診断検査室において、直接免疫蛍光法と脳組織検体の細胞培養でのウイルス分離により確定された。

サル咬傷が原因か(文献的には、最長7年間の潜伏期間を有する例がある) それとも、狂犬病感染のイヌの唾液との接触によるのかは不明である。

スペインで、黄熱ワクチン接種後に死亡した患者の報告

Eurosurveillance weekly 2004年11月4日

先日、スペインのマドリードにあるスペイン医薬製品機関(AGEMED)は、黄熱ワクチン接種後に死亡した患者の報告を受けた。

この患者は26歳女性で既知のリスクファクターはなく、10月14日に黄熱(Stamaril, ロット番号 X5424)、コレラ、破傷風、ジフテリアのワクチンを接種した。この患者のボーイフレンドと同じ日に、同じワクチンを接種したものである。この患者は10月17日に高熱、関節痛で発病し、10月21日に症状が悪化し、下痢、嘔吐などの症状が出現して入院した。検査所見ではクレアチニン、トランスアミナーゼ、ビリルビンの上昇と、血小板減少が見られた。全身状態が悪化し、病院のICUに移された。抗菌薬による治療が行われたが、ドパミン投与、機械的人工呼吸法、血液透析などの支持療法が必要になり、その後、多臓器不全と呼吸不全を起こし、10月25日に死亡した。

尿、血液、便検体の細菌培養は陰性で、肝炎の血清検査も陰性であった。剖検時の肉眼所見では、肝臓、腎臓、心臓、両肺に非特異的で壊死性の出血巣が認められた。現在、国立ウイルスセンターで血清および組織検体の検査を行っている。

コメント:

黄熱ワクチン接種後の多臓器不全は、黄熱ワクチン関連臓器障害(YEL-AVD)として知られている。この副反応は非常にまれで、黄熱ワクチンの製品の特徴の要約(SmPC)に記載されている。同文書中に複数の症例報告の論文が紹介されている。2001年には米国で4名、ブラジルで2名、オーストラリアで1名の患者発生に関する3件の論文が公開されている。1名の患者以外は死の転帰をとった。記載された患者では、黄熱の自然感染に類似した症状および病理所見を示した。一部の患者の血清と組織検体から黄熱ウイルスが同定された。分離されたウイルス株は17Dで、ワクチン株と同じである。全例とも他の病因は除外された。

2002年には米国CDCが、1996年以降、世界で12名のYFL-AVDが報告されていると述べた。この反応は、ワクチン株の野生株への変化が起きたと考えるより、17Dワクチン株に対する宿主の異常反応の可能性が示唆された。副反応発生を監視するとともに、ワクチン接種の適応を適切に判断すること、すなわち、黄熱の流行が現在発生しているか、過去に発生した地域へ旅行する者に対してのみ接種することが推奨される。

近年の研究では、ブラジルでの黄熱ワクチンに関連した推定死亡率は、100万人接種に対し0.04 ~ 2.1である。

スペインでは、このワクチンはフランスから輸入されている。Stamarilの販売許可を持っているアベンティスパスツールMSD社は、クロアチア、チェコ共和国、アイルランド共和国、リトアニア、ルーマニア、スロバキア、英国などの15カ国で、X5424のロット53,898人分を供給している。他の国からの注意喚起や患者発生の報告はない。

AGEMEDは、このワクチンの製造プロセス、使用しているウイルス株、ハーベスト産物、最終生成物に関するすべての情報を分析している。すべての製造および管理に関する記録からは、仕様書に従って行われている。さらに、製造番号X5424はフランスの公的管理機関により、さらに分析が行われており、EC/EEAの公式機関のロット使用証明書が発行されている。これは、このロットの品質が、ヨーロッパ薬局方と認可された仕様書に基づいていることを保障するものである。

AGEMEDは、製造上の問題がありうることを示すいかなる証拠も見つけておらず、したがって、このロットに関する対策を特に勧めてはいない。

スペイン国内のすべての国と地方の保健当局に、この件の報告がなされた。



感染症の話

疥癬

疥癬はヒゼンダニ(疥癬虫、*Sarcoptes scabiei*)が皮膚の最外層である角皮層に寄生し、人から人へ感染する疾患である。

非常に多数のダニの寄生が認められるノルウェー疥癬(角化型疥癬)と、少数寄生であるが激しい痒みを伴う普通の疥癬とがある。近年わが国では病院、老人ホーム、養護施設などで集団発生の事例が増加しており、疥癬感染防止対策マニュアルの作成が行われているが、予防、治療法などに混乱があり、医療および介護関係者の間で深刻な問題となっている。

感染経路

ヒゼンダニの大きさは雌成虫で体長400 μm、体幅325 μmで、卵形、円盤状で(写真1)、肉眼ではほとんど見えない。雄は雌よりさらに小型である。卵 幼虫 若虫 成虫と約2週間で成熟する。幼虫、若虫、雄成虫は人の皮膚表面を歩き回るため、皮膚同士の接触によって感染する。また、皮膚内に掘った穴や毛包内に隠れていたりするため、ダニの寄生部位を特定するのは難しい。皮表を歩き回っている雄は角質層内の雌を探し、交尾する。交尾後の雌成虫は、角質層に特徴的な疥癬トンネルを掘り進みながら、4~6週間にわたって1日2~3個ずつ産卵し続ける。卵は3~4日で孵化し、幼虫はトンネルを出てはいまわる。ヒゼンダニは乾燥に弱く、皮膚から離れると2~3時間程で死ぬ。なお、イヌやタヌキなどの動物疥癬による偶発的症例が報告されており、感染したヒトは皮膚症状を示すが、皮膚内でダニが繁殖しないために、一時的な寄生で終わる。

疥癬患者は年間8~15万人と予想されている。感染経路は人と人との接触がほとんどである。従って、家族、介護者、セックスパートナーの他、ダンスの相手やこたつで行う麻雀の仲間、また、畳での雑魚寝などでも感染する可能性がある。まれに寝具、衣類などから感染することもある。ヒゼンダニはヒトの体温より低い温度では動きが鈍く、16℃ではほとんど運動しなくなる。通常の社会生活で、普通の疥癬患者と数時間並んで座った程度では、感染する可能性はほとんどない。感染直後は全く症状がないが、感染後約4~6週間で多数のダニが増殖し、その虫体、脱皮殻や排泄物(糞)によって感作されることにより、アレルギー反応としての激しい痒みが始まる。なお、角化型疥癬の患者から感染を受けた場合には多数のダニが移るので、潜伏期間も4~5日と非常に短くなる。

集団生活が行われている老人福祉施設や養護施設などでは、一人の角化型疥癬患者の入所で集団発生の危険性が生じる。1996年に東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の養護老人ホームと特別養護老人ホーム506施設に、疥癬の集団発生に関するアンケート調査を実施した報告では、集団発生を経験したことがある施設は養護老人ホームで45%、特別養護老人ホームは79%であった。多くは10人以下の集団発生であったが、41人以上の集団発生も5施設あった。患者の発生が持続する期間は1~6カ月89%、6カ月~1年8.2%、1~2年2.6%で、2年以上も1施設みられた(皮膚病診療19:468、1977)。

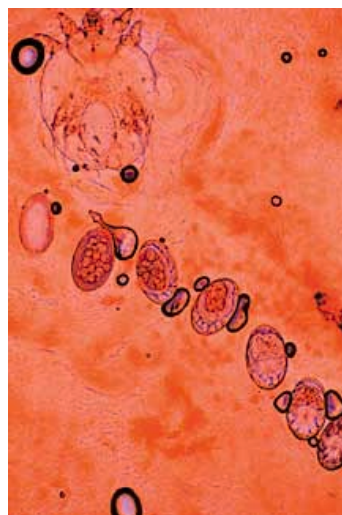


写真1. ヒゼンダニ
メスは1日2~4個の卵を産む。
成虫の腹部に卵がみられる。

臨床症状・診断

激しい痒みは特に夜間に増強し、睡眠を妨げられることがある。ただし、高齢者や角化型疥癬の患者では掻痒の訴えが少ない場合もある。疥癬に特徴的な皮疹は疥癬トンネル(小隆起性茶色調、曲がりくねった線状疹)で、手首の屈側、手掌尺側、指、指間、肘、アキレス腱部などに認められる。その他、丘疹、小水疱、痂皮、小結節なども見られる。陰嚢部には小結節を認めることがある。また、下腹部や背部、腋下などにも丘疹を認めることもあるので、全身くまなく観察することが必要である。

疥癬の確定診断はヒゼンダニを検出することである。しかし、問診・皮膚症状で疥癬が疑われる患者からのヒゼンダニ検出率は、皮膚科医が行った場合でも60%前後であり、検出率向上は主治医の努力にかかっている。したがって、強い掻痒を伴う疑わしい皮疹がある場合には、早期に皮膚科専門医に診察を依頼する。検査で陰性であっても掻痒や皮膚症状が収まるまで、数週間おいて繰り返し検査する必要がある。

ヒゼンダニの検出方法は、疥癬トンネルや皮疹部を先の曲がった眼科用ハサミで先端を切り取ったり、あるいは、メスで皮疹の表面をこすって採取した組織片をスライドグラスに載せ、20%水酸化カリウム液を皮膚小片に滴下し、透過させて鏡検する。虫体や虫卵のほか、虫体の一部、卵の抜け殻などを検出する。血液像、血液生化学検査などは正常である。免疫学的検査法は開発されていない。

角化型疥癬(ノルウェー疥癬、痂皮型疥癬)

角化型疥癬は、桁違いに多数のヒゼンダニが感染した疥癬の重症型である(写真2)。患部は、肥厚した灰白色～帯黄白色の角質増殖と痂皮に覆われた状態になり、亀裂も生じる。ダニの数は通常の疥癬では数十匹であるが、角化型では100万～200万匹といわれている。



写真2．角化型疥癬の患者

白色に見える部分は角化が進行している。角化した皮膚を顕微鏡で観察すると、ヒゼンダニを認める。

患者から剥がれ落ちた鱗屑や痂皮には多数のヒゼンダニがいるので、集団発生の感染源になる。角化型疥癬患者には、高齢者に多くみられる運動機能低下・障害、あるいは免疫学的異常など種々の基礎疾患があり、ステロイド剤の内服・注射などの全身投与や外用なども重症化の一因となる。角化型では爪なども侵され、掻痒は不定で治療に抵抗性である。角化型ではヒゼンダニの検出が容易であるので、特徴的な皮疹を診て疥癬を疑うことが診断上重要である。

治療・予防

現在使用されている抗ダニ薬剤を表に示す。疥癬への保険適用薬剤はイオウ剤のみであるが、外用剤は使用感が悪く、効力も弱い。イオウ入浴剤はやや有効であるが、入浴しすぎたり、浴槽に多く入れすぎると肌が荒れるので注意する。診療現場ではクロタミソ軟膏が多く使用されている。外用剤は首から下の全身に塗布するのが肝要で、特に手や指、陰部などに塗り残しのないようにする。しかし、効果も弱く処置が煩雑なため、著効する内服剤への期待が高く、保険適用が望まれている。掻痒に対しては、抗ヒスタミン剤の内服が用いられている。角化型疥癬は厚い痂皮を取ることが必要である。疥癬を湿疹と誤診してステロイド塗布治療を行うと、一時的に皮疹と痒みは軽減するが、すぐに悪化してくる。ステロイド外用剤は使用してはならない。

感染拡大予防のためには患者の早期発見が重要で、疥癬が疑われる場合早期に皮膚科に検査を依頼すること、さらに一人の患者が見つかった場合、患者の家族や同じところで寝泊りした人など、無症状者にも検査を行うことが必要となる。また、集団発生時は角化型疥癬患者など当該施設の感染源を特定すること、感染の機会があった入所者・スタッフの検査を行うことが必要となる。普通の疥癬患者とは皮膚の直接接触を避ければ感染の心配はないので、隔離は必要ないが、角化型疥癬患者は短期間個室管理とし、処置をする場合は感染予防に努める。

表. 疥癬の主な治療薬剤

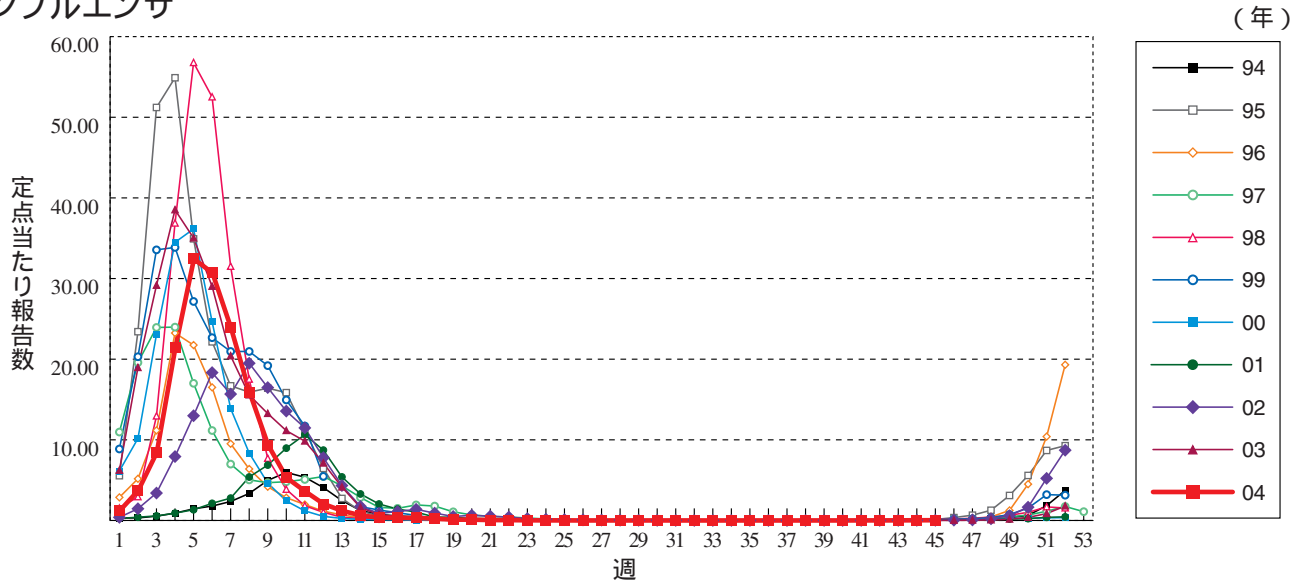
薬剤名	剤型	効果	副作用	入手法	使用感
イオウ剤	軟膏、ローション等	やや有効	刺激性、皮膚乾燥	各医療機関で調製(保険適用)	臭気、全身外用のため煩雑
イオウ剤	入浴剤	やや有効	刺激性、皮膚乾燥	一般薬局で購入可	臭気
クロタミソ	軟膏	やや有効	時に皮膚炎	医師の処方箋	全身外用のため煩雑
安息香酸ベンジル	ローション	やや有効	刺激性	各医療機関で調製	全身外用のため煩雑
-BHC(リンデン)	軟膏	有効	毒性あり	各医療機関で調製	全身外用のため煩雑
ペルメトリン	軟膏	有効	時に皮膚炎	日本では入手困難	全身外用のため煩雑
イベルメクチン	内服剤	著効	少ない	日本では保険適用なし	内服のため容易

国立感染症研究所ハンセン病研究センター 石井則久
同昆虫医科学部 小林睦生

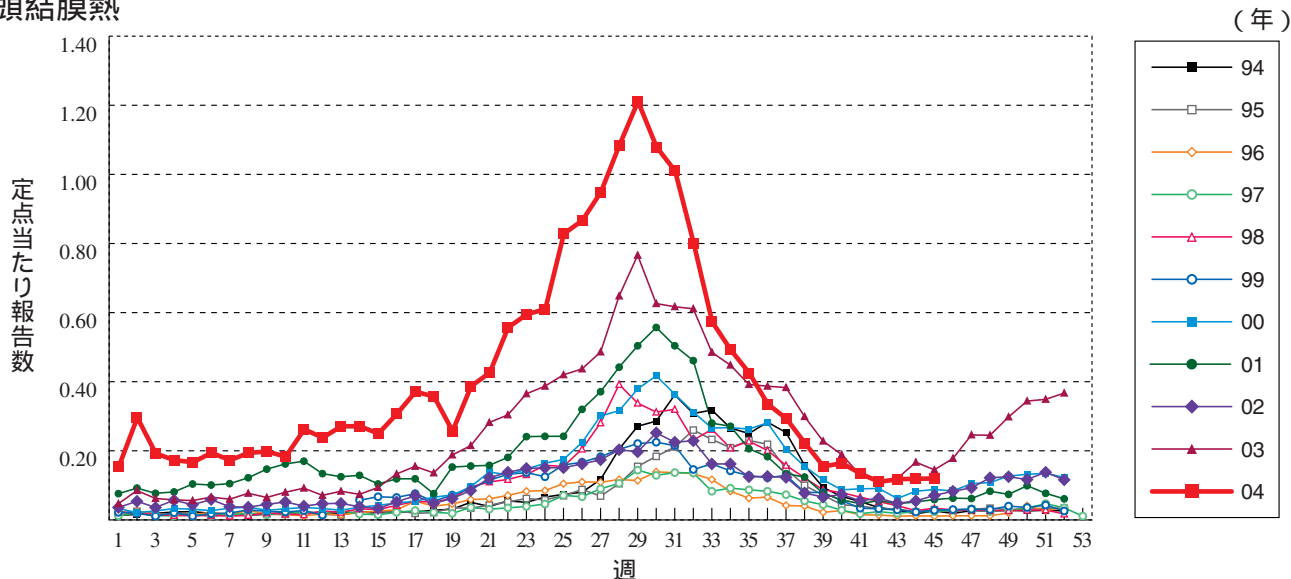


グラフ総覧(45週)

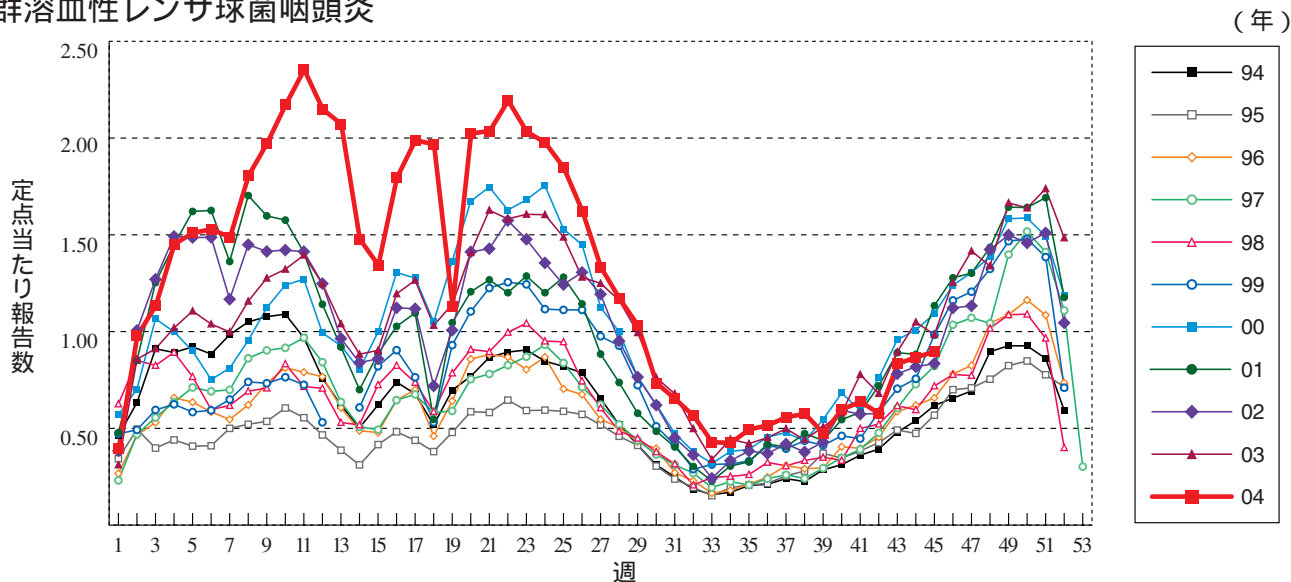
インフルエンザ



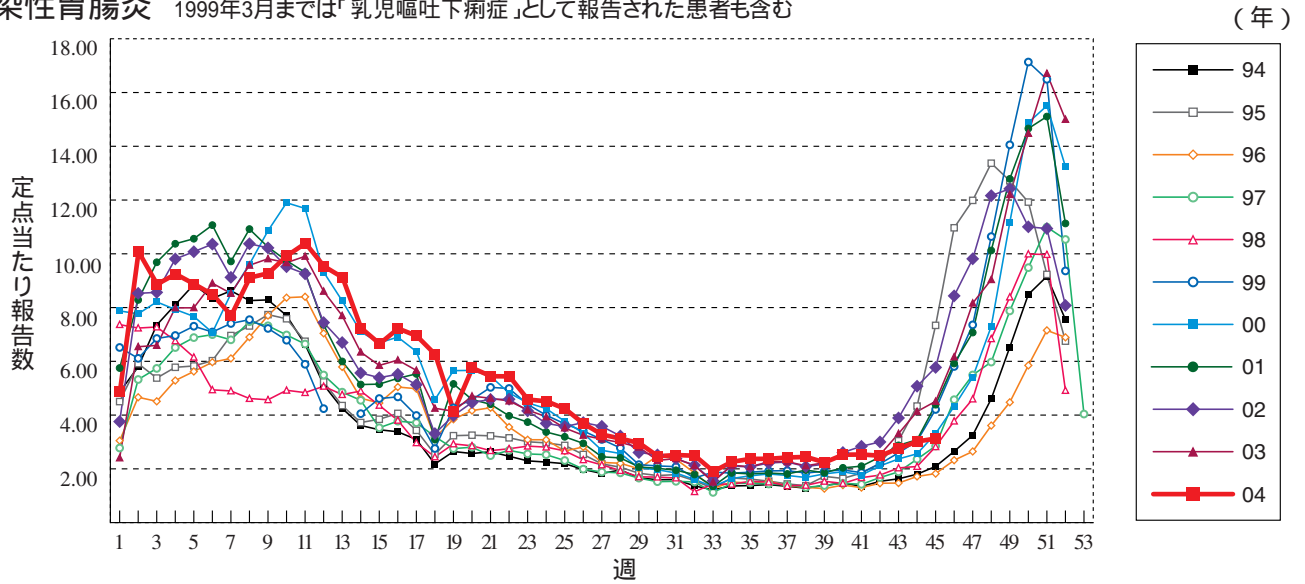
咽頭結膜熱



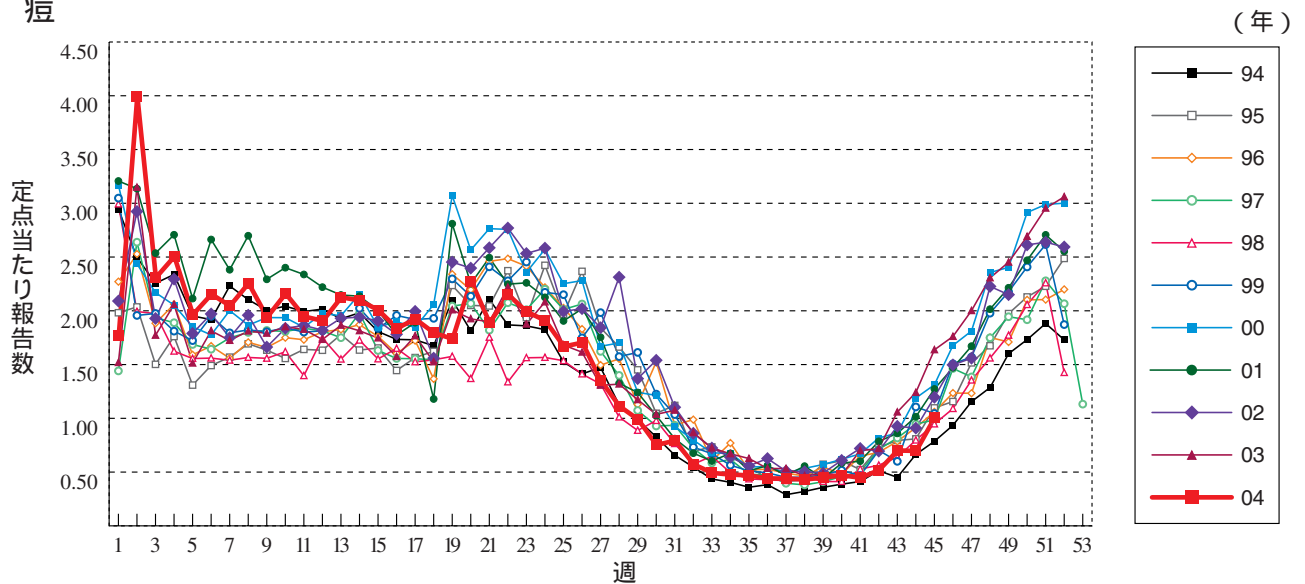
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



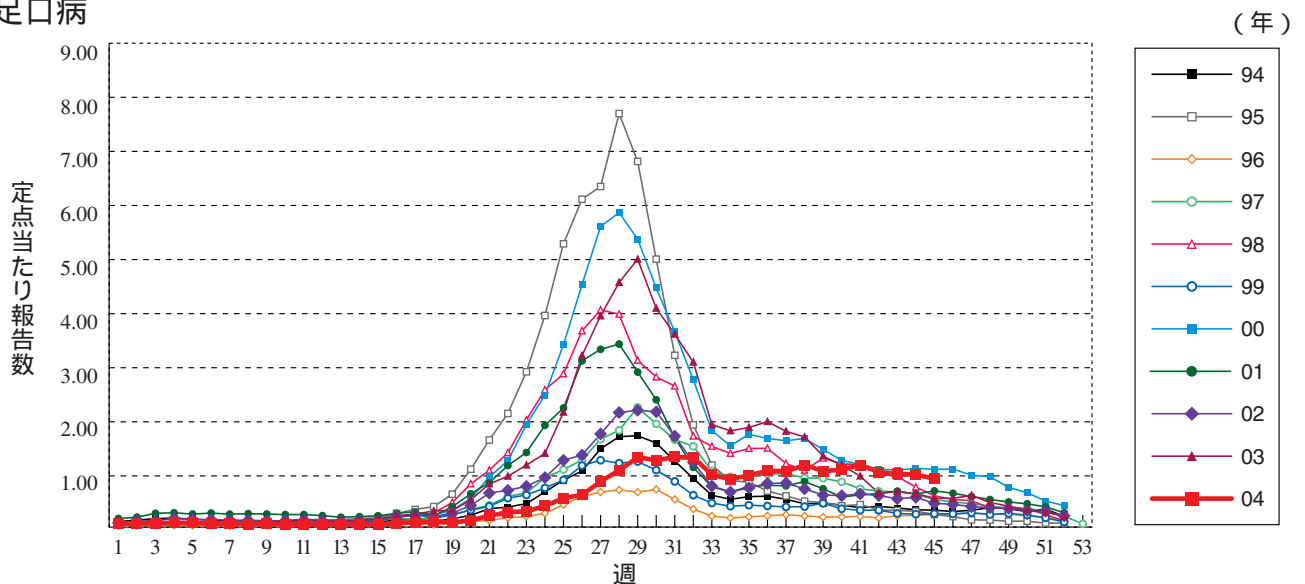
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



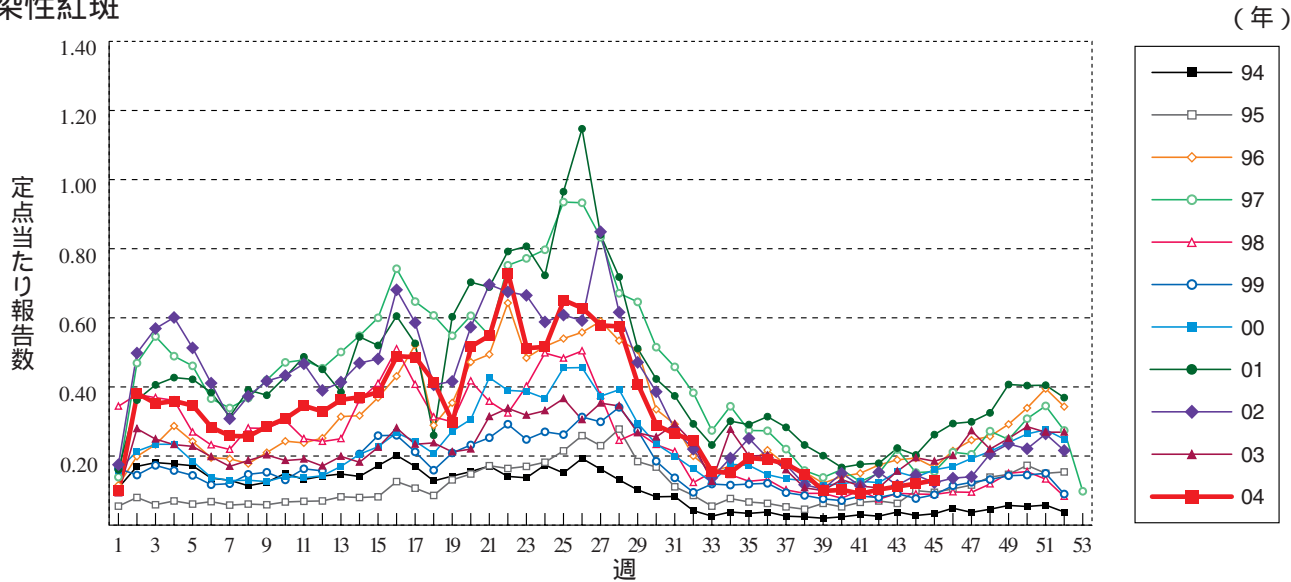
水痘



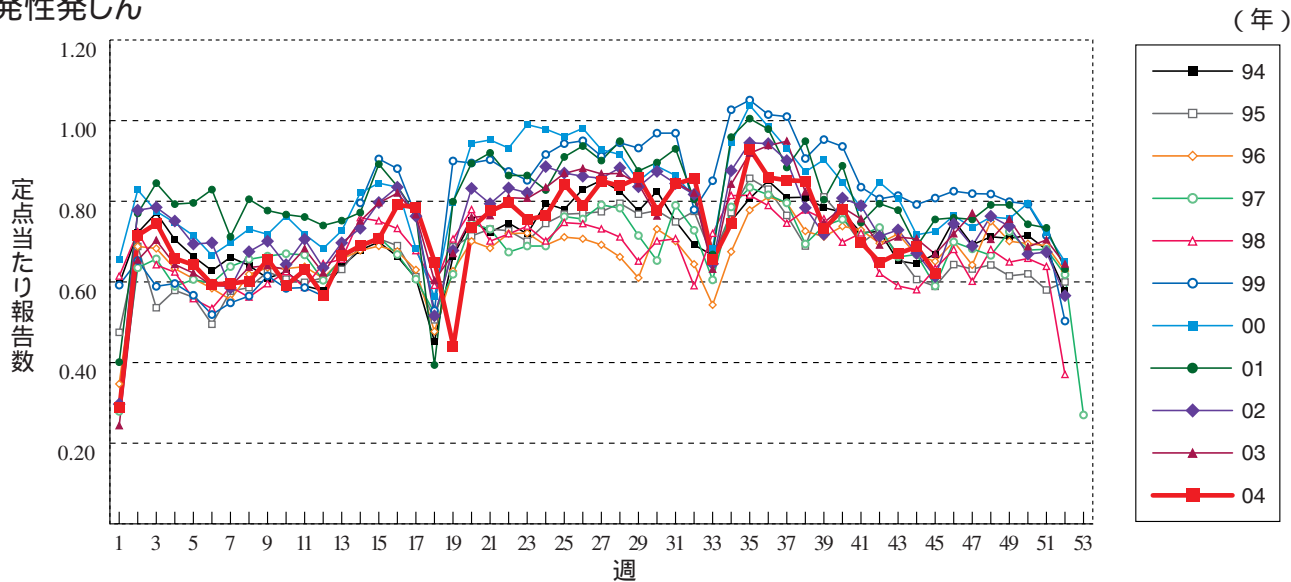
手足口病



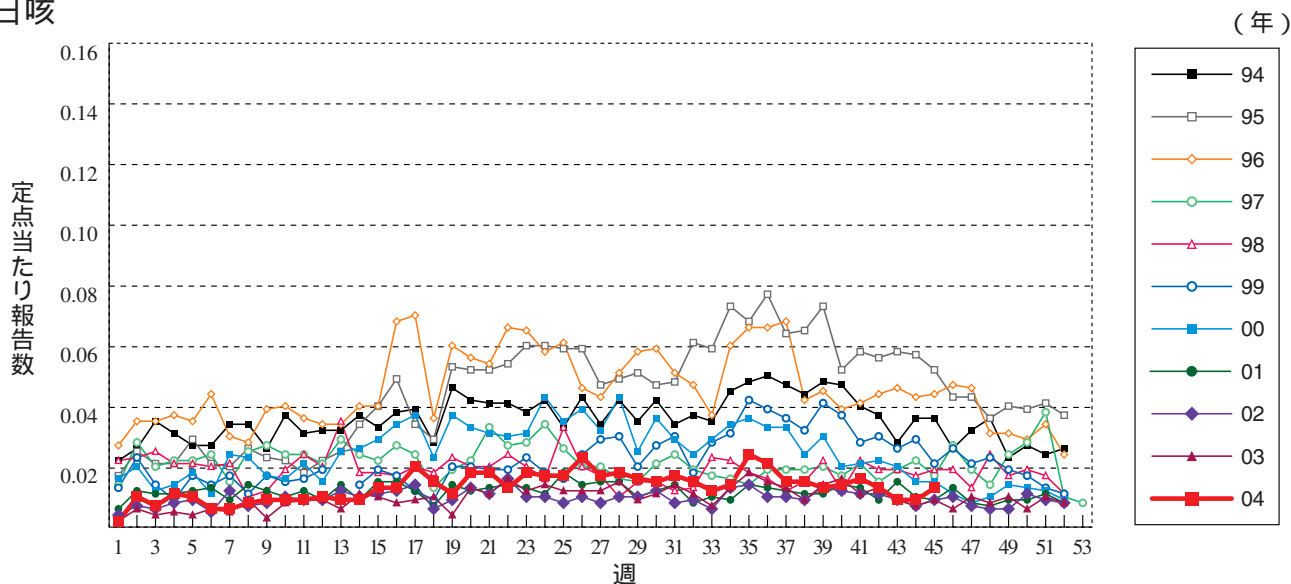
伝染性紅斑



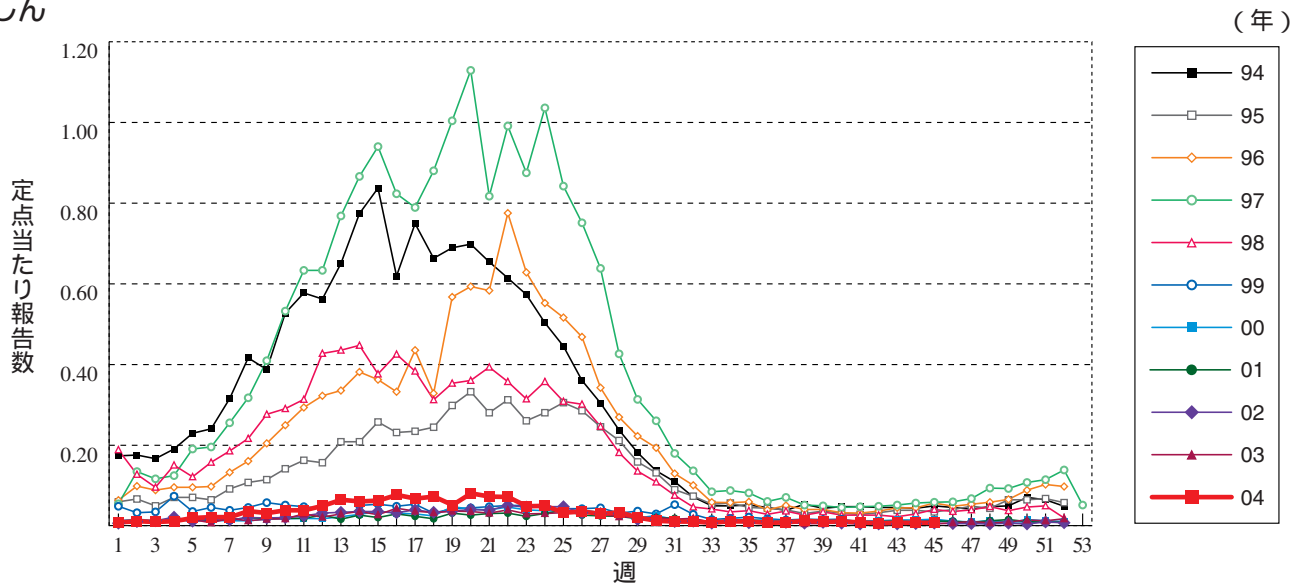
突発性発しん



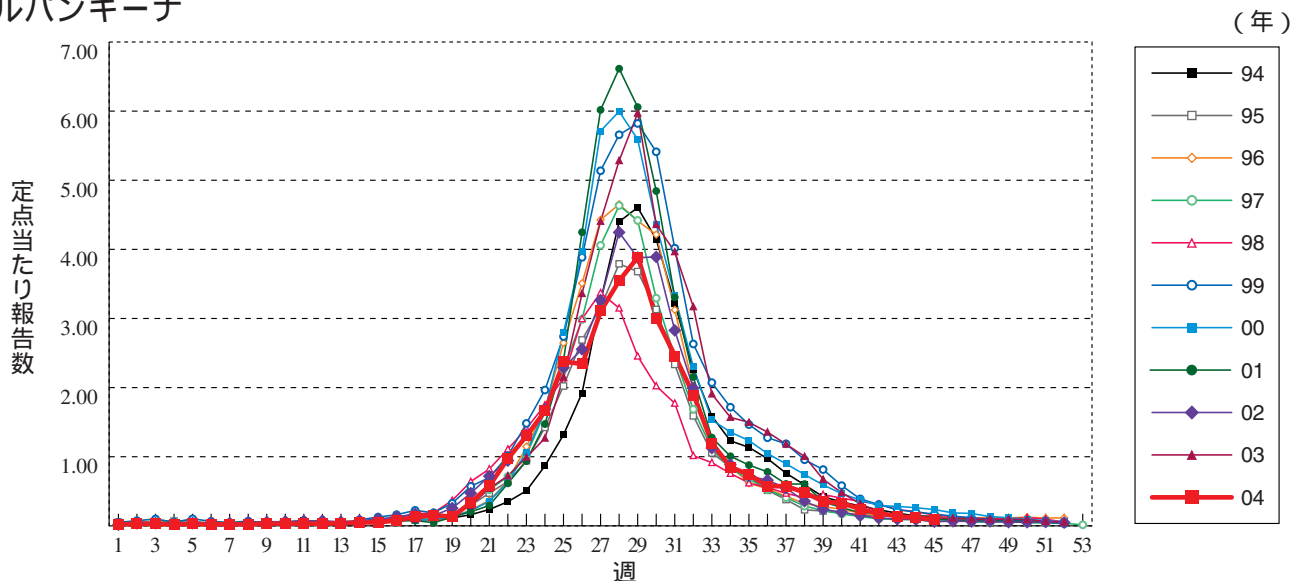
百日咳



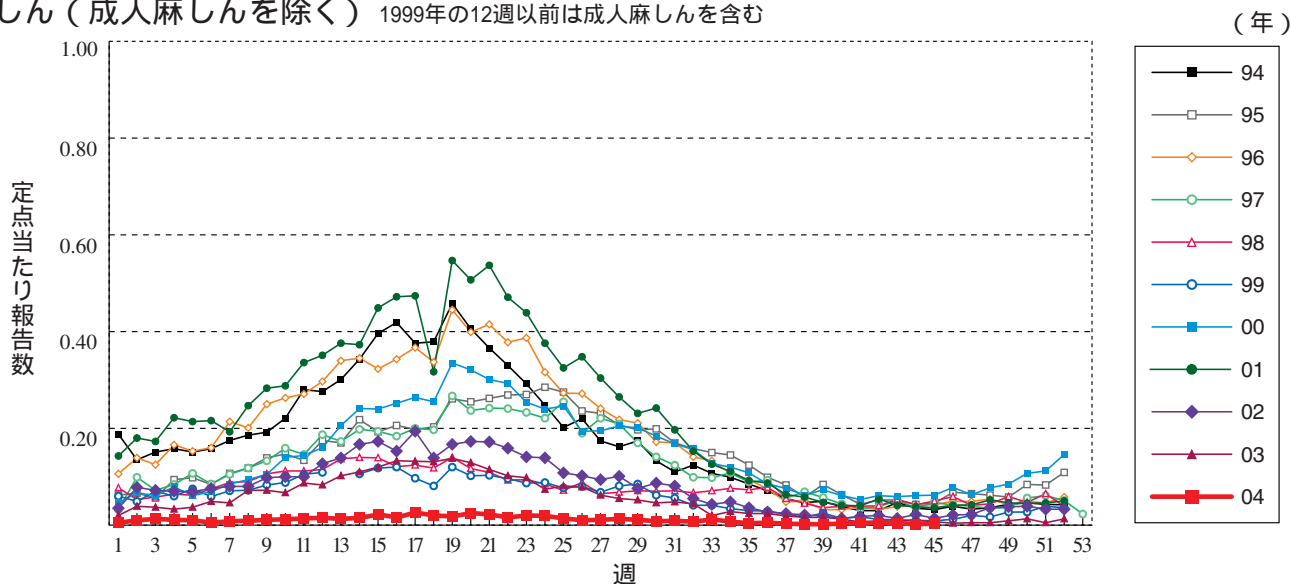
風しん



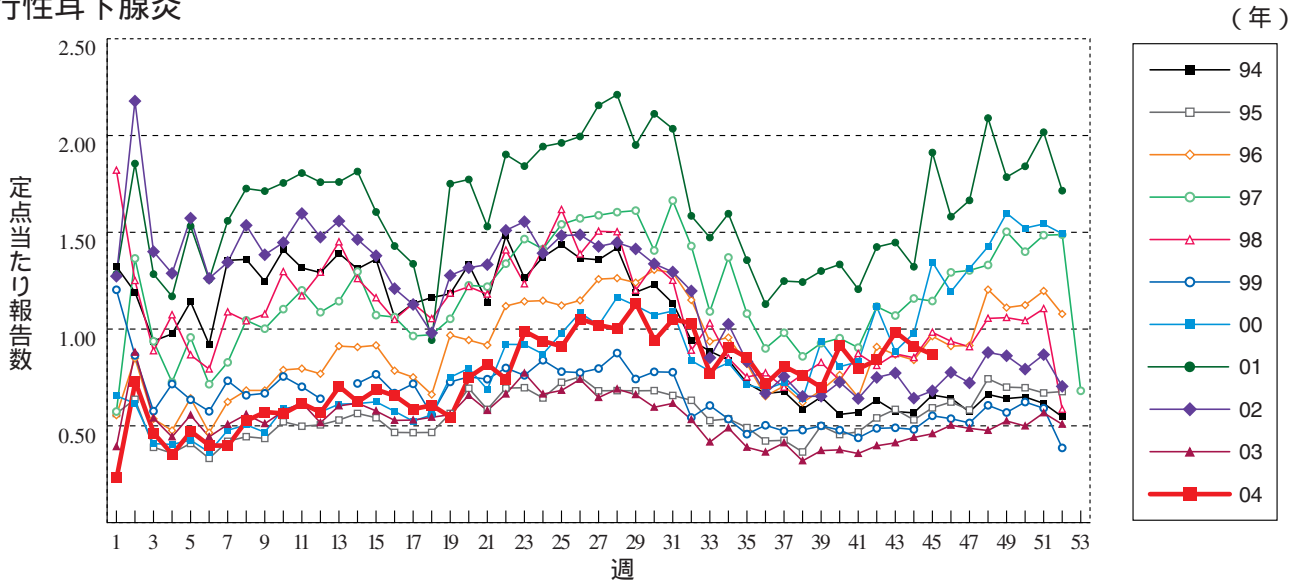
ヘルパンギーナ



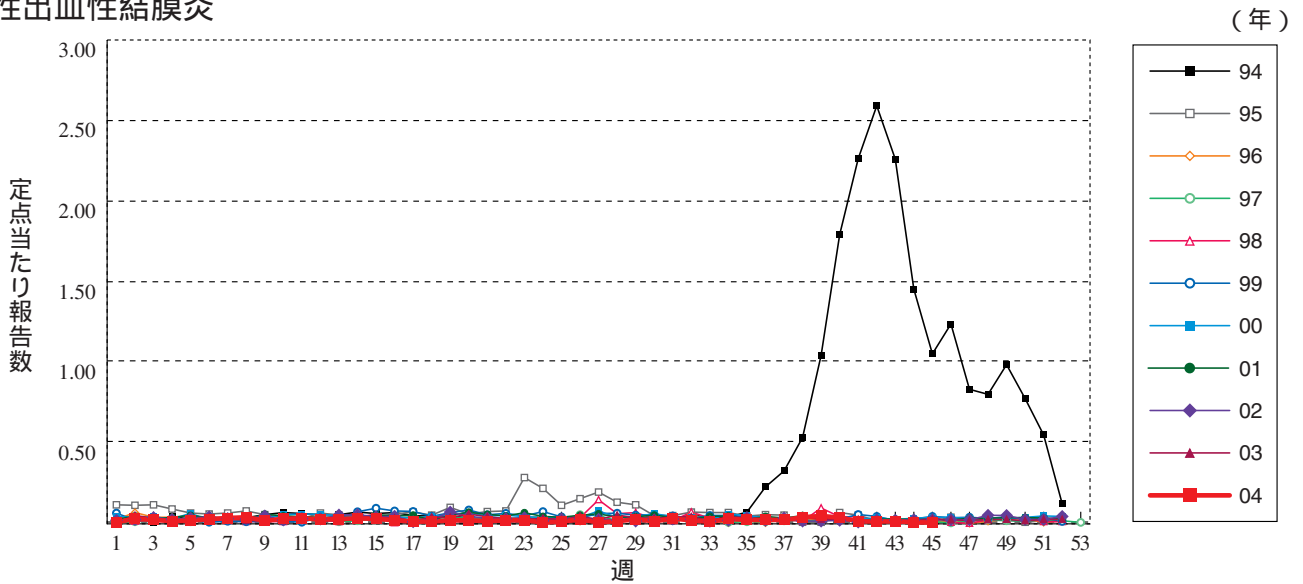
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



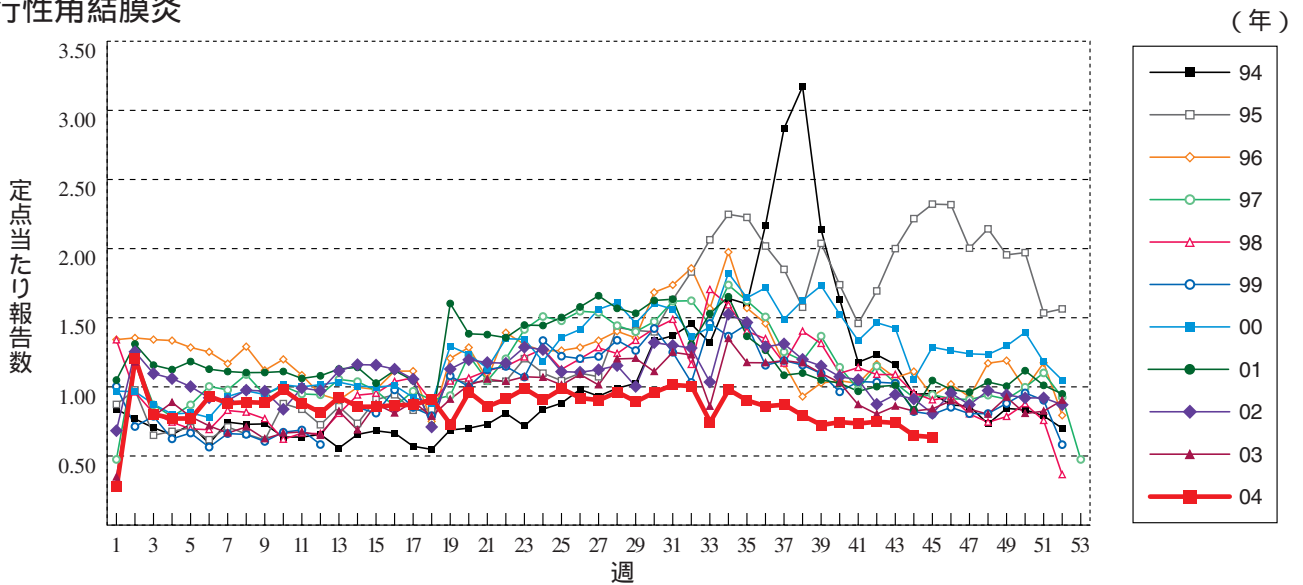
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

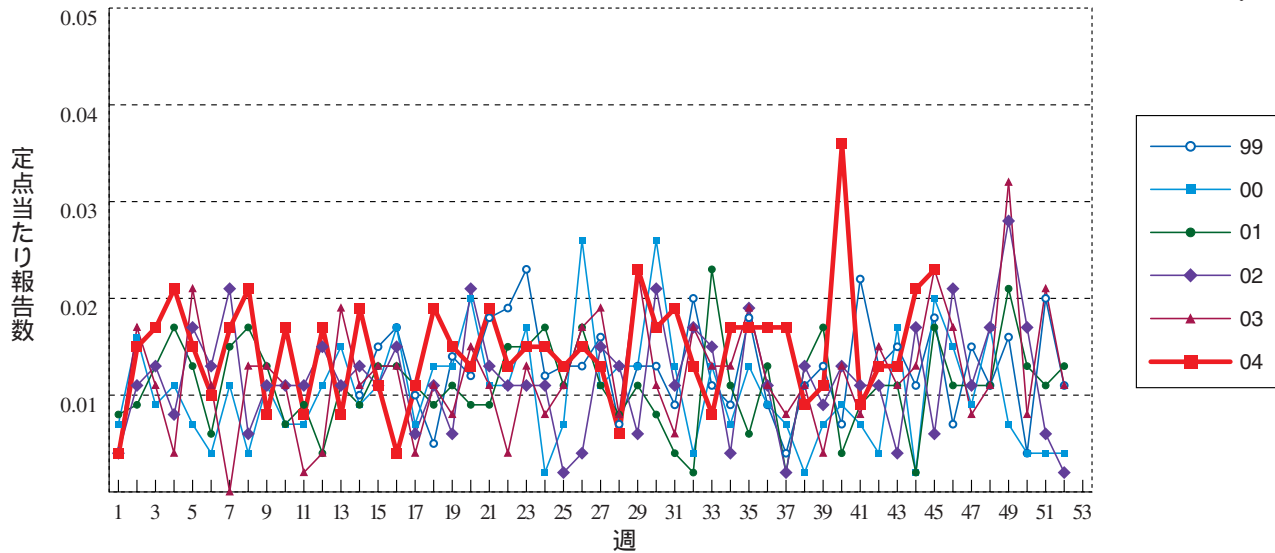


流行性角結膜炎



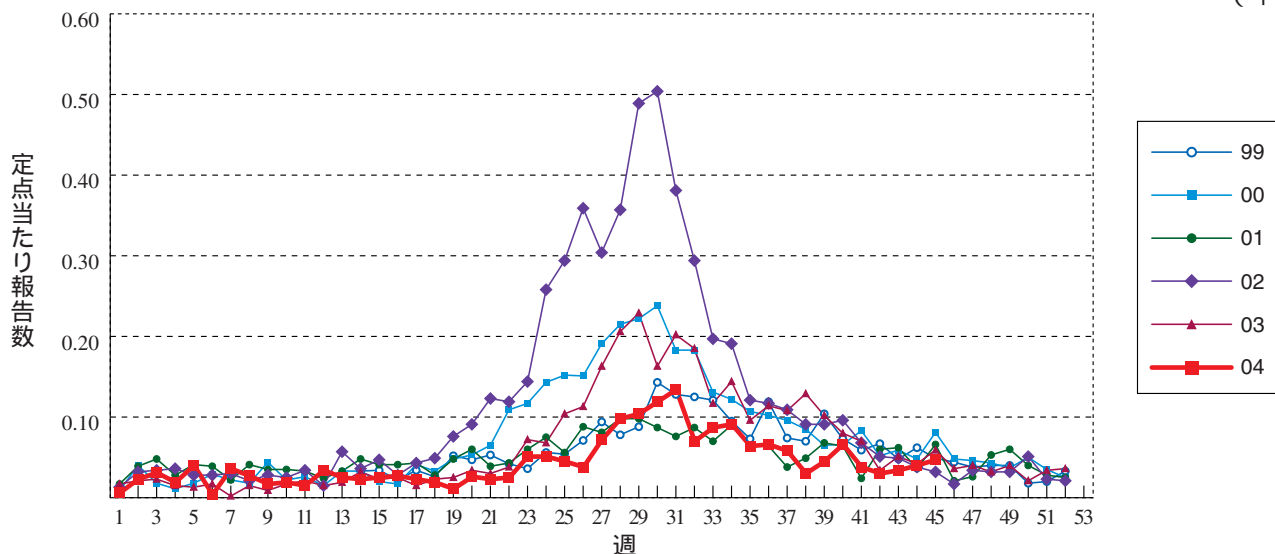
細菌性髄膜炎

(年)



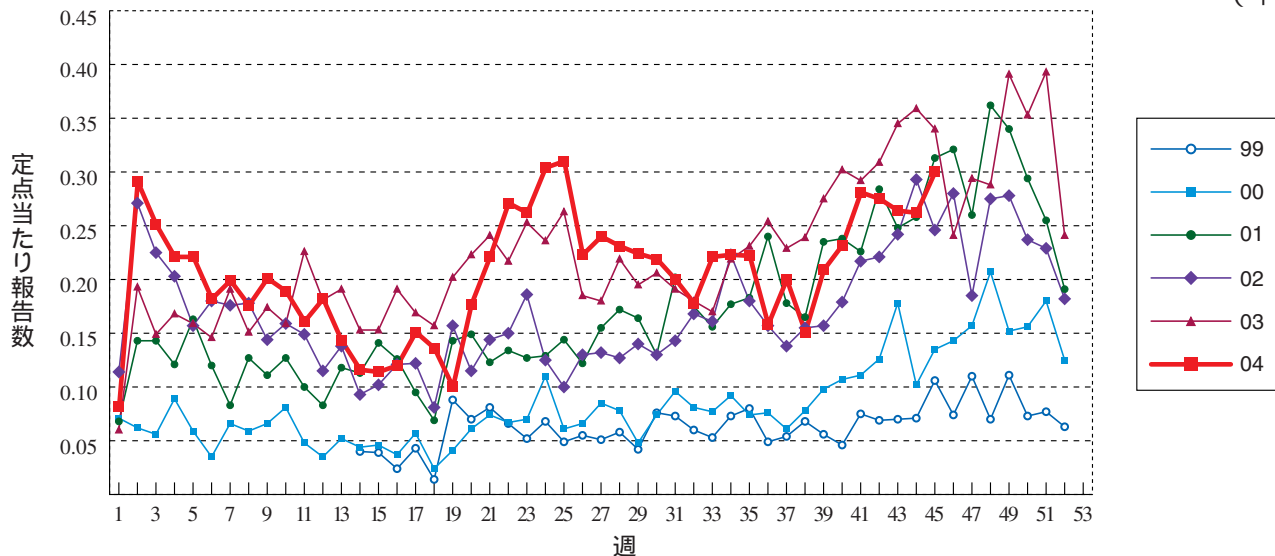
無菌性髄膜炎

(年)



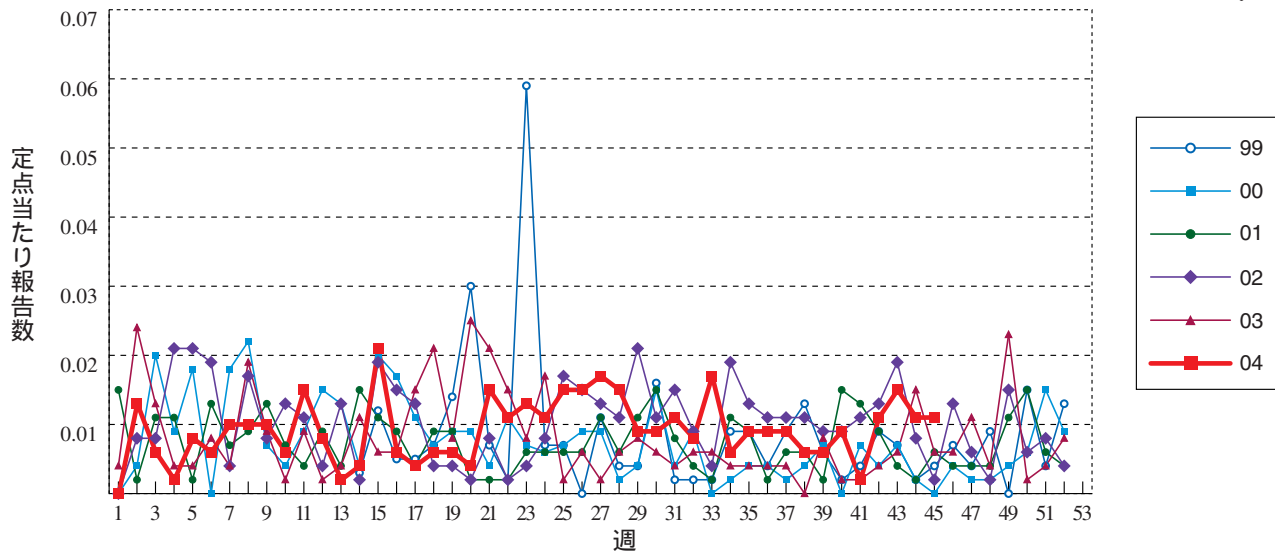
マイコプラズマ肺炎

(年)



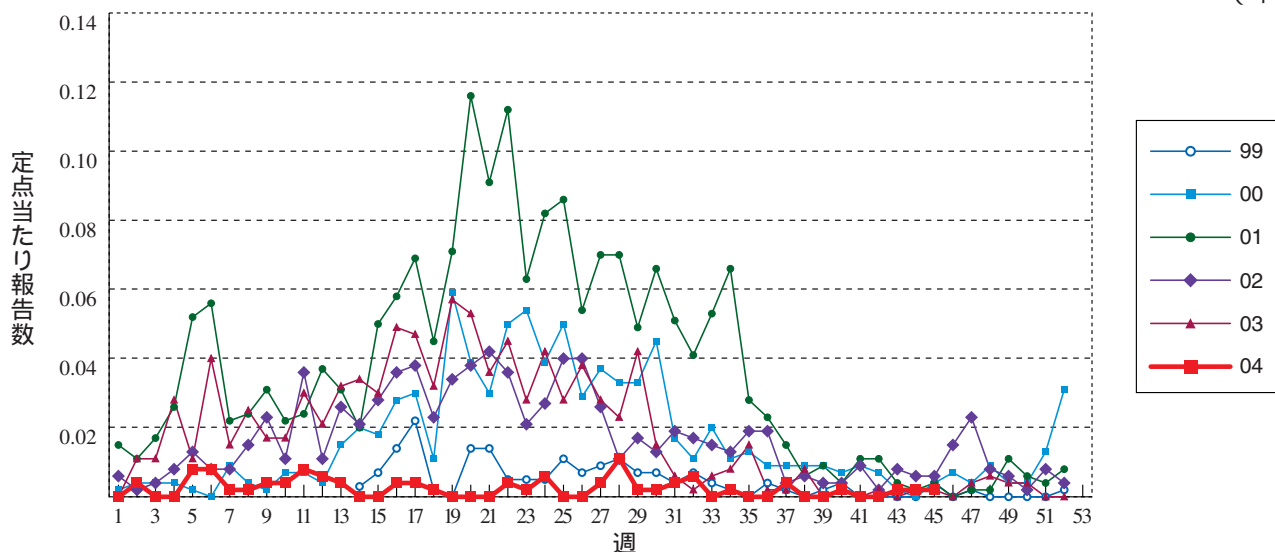
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





45週のデータ

注)表中の報告数は11月11日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年45週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	79	5	514	-	60	2	77
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	2	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	17	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	27	-	2	1	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	38	-	4	1	6
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2	118	-	15	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	5	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	1	23	-	6	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	45	-	3	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	22	-	5	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	11	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	12	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	35	3388	6	500	-	24	-	-	-	39	-	-	3	256
北海道	-	-	-	-	-	66	-	12	-	23	-	-	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	146	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	1	45	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3	56	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	22	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	37	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	85	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-	77	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	126	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
東京都	-	-	-	-	1	258	3	119	-	-	-	-	-	3	-	-	1	55
神奈川県	-	-	-	-	1	89	-	25	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	1	28	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
石川県	-	-	-	-	-	172	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	40	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	60	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	1	38	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	1	63	-	18	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	157	-	39	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	76	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	21	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	2	63	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	4	239	-	55	-	-	-	-	-	6	-	-	-	29
兵庫県	-	-	-	-	7	148	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21
奈良県	-	-	-	-	-	53	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	17	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	2	186	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	87	-	11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	-	46	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	60	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	81	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	3	172	-	19	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	4	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	70	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	83	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	42	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	91	-	142	-	49	9	971	-	6	1	75	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	6	-	2	-	11	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	28	-	5	-	1	1	37	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	54	-	4	-	2	2	49	-	1	-	11	-	-
東京都	-	1	-	-	-	8	-	16	-	5	4	349	-	1	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	59	-	1	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	35	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	30	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	62	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7	-	-	1	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	7	-	5	1	112	-	1	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	4	-	24	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	15	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	20	-	8	-	-	1	114	2	43	-	59	-	5	6	429	1	88
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	13	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	8	-	3
東京都	-	6	-	3	-	-	6	2	27	-	-	-	-	-	-	53	-	2
神奈川県	-	3	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	14	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	4	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	4
愛知県	-	2	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	31	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	13	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	13	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	1	-	3
岡山県	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	8	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	12	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	8	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	8	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	28	-	2	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
長崎県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-	-	1	2	26	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	9	-	-	
宮崎県	-	1	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	4	-	3	
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	30	-	-	-	8	-	-	1	8	-	5	
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	-	4	6	130
北海道	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	7
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	1	18
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	8
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	4
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	28	-	-	-	123	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	15	3	115	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年45週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	135	0.03	366	0.12	2725	0.90	9519	3.13	3063	1.01	2724	0.90	395	0.13	1887	0.62	39	0.01
北海道	-	-	46	0.32	274	1.92	485	3.39	243	1.70	109	0.76	32	0.22	63	0.44	1	0.01
青森県	-	-	1	0.02	43	1.02	50	1.19	55	1.31	37	0.88	3	0.07	22	0.52	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	24	0.67	49	1.36	65	1.81	4	0.11	9	0.25	12	0.33	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	86	1.46	187	3.17	131	2.22	83	1.41	15	0.25	43	0.73	1	0.02
秋田県	-	-	5	0.14	38	1.09	129	3.69	69	1.97	10	0.29	-	-	22	0.63	-	-
山形県	-	-	9	0.30	62	2.07	93	3.10	38	1.27	16	0.53	22	0.73	24	0.80	-	-
福島県	-	-	6	0.13	59	1.23	195	4.06	69	1.44	100	2.08	14	0.29	28	0.58	3	0.06
茨城県	6	0.05	7	0.09	60	0.81	141	1.91	58	0.78	55	0.74	9	0.12	29	0.39	4	0.05
栃木県	2	0.03	5	0.11	42	0.91	86	1.87	45	0.98	20	0.43	10	0.22	16	0.35	-	-
群馬県	10	0.10	12	0.19	67	1.08	138	2.23	58	0.94	38	0.61	8	0.13	48	0.77	-	-
埼玉県	2	0.01	20	0.12	141	0.88	545	3.39	192	1.19	98	0.61	35	0.22	113	0.70	-	-
千葉県	16	0.08	7	0.05	103	0.79	343	2.64	107	0.82	145	1.12	13	0.10	81	0.62	3	0.02
東京都	49	0.28	15	0.11	78	0.55	422	2.97	156	1.10	125	0.88	19	0.13	69	0.49	2	0.01
神奈川県	3	0.01	24	0.12	145	0.70	549	2.67	186	0.90	152	0.74	15	0.07	157	0.76	-	-
新潟県	-	-	13	0.22	65	1.08	171	2.85	81	1.35	22	0.37	4	0.07	49	0.82	1	0.02
富山県	-	-	2	0.07	45	1.55	149	5.14	22	0.76	38	1.31	3	0.10	17	0.59	-	-
石川県	1	0.02	3	0.10	26	0.90	101	3.48	35	1.21	87	3.00	14	0.48	16	0.55	-	-
福井県	1	0.03	17	0.77	23	1.05	138	6.27	67	3.05	87	3.95	3	0.14	11	0.50	1	0.05
山梨県	-	-	1	0.04	18	0.72	32	1.28	22	0.88	28	1.12	1	0.04	8	0.32	-	-
長野県	1	0.01	2	0.04	82	1.49	211	3.84	53	0.96	15	0.27	5	0.09	37	0.67	-	-
岐阜県	2	0.02	11	0.21	14	0.26	80	1.51	35	0.66	6	0.11	1	0.02	25	0.47	-	-
静岡県	-	-	5	0.06	62	0.72	400	4.65	68	0.79	92	1.07	12	0.14	69	0.80	3	0.03
愛知県	-	-	2	0.01	55	0.30	251	1.38	38	0.21	23	0.13	13	0.07	39	0.21	-	-
三重県	-	-	9	0.20	35	0.78	212	4.71	42	0.93	94	2.09	3	0.07	37	0.82	1	0.02
滋賀県	-	-	-	-	12	0.36	66	2.00	41	1.24	34	1.03	-	-	9	0.27	-	-
京都府	1	0.01	4	0.05	27	0.36	228	3.00	70	0.92	53	0.70	4	0.05	30	0.39	1	0.01
大阪府	16	0.05	21	0.11	182	0.93	570	2.92	140	0.72	84	0.43	20	0.10	92	0.47	5	0.03
兵庫県	5	0.03	17	0.13	80	0.63	584	4.56	79	0.62	49	0.38	14	0.11	104	0.81	1	0.01
奈良県	-	-	3	0.09	19	0.54	88	2.51	19	0.54	16	0.46	2	0.06	14	0.40	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	14	0.45	65	2.10	46	1.48	62	2.00	6	0.19	14	0.45	3	0.10
鳥取県	-	-	1	0.05	32	1.68	108	5.68	14	0.74	25	1.32	-	-	13	0.68	-	-
島根県	-	-	4	0.17	23	1.00	101	4.39	25	1.09	55	2.39	1	0.04	30	1.30	-	-
岡山県	4	0.05	9	0.17	30	0.56	209	3.87	45	0.83	6	0.11	4	0.07	24	0.44	-	-
広島県	-	-	14	0.19	53	0.71	331	4.41	48	0.64	24	0.32	10	0.13	44	0.59	2	0.03
山口県	1	0.01	4	0.08	72	1.47	212	4.33	43	0.88	25	0.51	11	0.22	55	1.12	-	-
徳島県	-	-	12	0.52	28	1.22	54	2.35	30	1.30	10	0.43	4	0.17	16	0.70	-	-
香川県	-	-	7	0.22	19	0.59	77	2.41	36	1.13	42	1.31	5	0.16	24	0.75	-	-
愛媛県	-	-	-	-	50	1.28	264	6.77	41	1.05	26	0.67	2	0.05	38	0.97	1	0.03
高知県	-	-	7	0.23	30	0.97	81	2.61	22	0.71	37	1.19	-	-	14	0.45	-	-
福岡県	11	0.06	9	0.08	153	1.28	367	3.06	144	1.20	129	1.08	23	0.19	97	0.81	2	0.02
佐賀県	-	-	4	0.17	16	0.70	29	1.26	23	1.00	19	0.83	2	0.09	31	1.35	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	30	0.68	144	3.27	21	0.48	25	0.57	2	0.05	38	0.86	-	-
熊本県	1	0.01	7	0.14	50	1.02	230	4.69	46	0.94	85	1.73	1	0.02	34	0.69	-	-
大分県	1	0.02	5	0.14	56	1.56	153	4.25	47	1.31	36	1.00	9	0.25	42	1.17	2	0.06
宮崎県	-	-	8	0.22	55	1.49	164	4.43	68	1.84	251	6.78	7	0.19	43	1.16	1	0.03
鹿児島県	2	0.02	2	0.04	43	0.78	206	3.75	51	0.93	138	2.51	5	0.09	29	0.53	1	0.02
沖縄県	-	-	-	-	4	0.12	31	0.91	29	0.85	9	0.26	-	-	17	0.50	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年45週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	21	0.01	268	0.09	8	0.00	2640	0.87	5	0.01	406	0.64	11	0.02	22	0.05	141	0.30
北海道	3	0.02	29	0.20	1	0.01	71	0.50	-	-	13	0.45	1	0.04	-	-	3	0.13
青森県	1	0.02	3	0.07	-	-	33	0.79	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	16	0.44	-	-	19	0.53	-	-	10	0.83	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	22	0.37	-	-	10	0.17	1	0.09	2	0.18	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	5	0.14	-	-	1	0.03	-	-	3	0.43	-	-	-	-	8	1.14
山形県	-	-	3	0.10	-	-	33	1.10	-	-	1	0.13	-	-	-	-	10	1.00
福島県	1	0.02	10	0.21	-	-	23	0.48	-	-	15	1.25	-	-	-	-	5	0.71
茨城県	1	0.01	2	0.03	-	-	31	0.42	-	-	14	0.88	-	-	-	-	2	0.18
栃木県	-	-	1	0.02	-	-	9	0.20	-	-	10	0.83	-	-	1	0.14	2	0.29
群馬県	-	-	15	0.24	1	0.02	65	1.05	-	-	28	2.00	-	-	-	-	6	0.60
埼玉県	-	-	11	0.07	-	-	164	1.02	-	-	14	0.39	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	2	0.02	-	-	189	1.45	-	-	17	0.49	-	-	-	-	7	0.78
東京都	-	-	17	0.12	5	0.04	90	0.63	-	-	14	1.00	3	0.12	7	0.28	7	0.28
神奈川県	2	0.01	18	0.09	-	-	151	0.73	1	0.02	21	0.50	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	4	0.07	-	-	58	0.97	-	-	4	0.44	-	-	1	0.08	3	0.23
富山県	-	-	5	0.17	-	-	25	0.86	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	13	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	1	0.05	-	-	104	4.73	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33	2	0.33
山梨県	-	-	2	0.08	-	-	4	0.16	-	-	-	-	-	-	1	0.10	7	0.70
長野県	-	-	11	0.20	-	-	34	0.62	-	-	6	0.55	-	-	-	-	10	0.91
岐阜県	1	0.02	3	0.06	-	-	128	2.42	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	6	0.07	-	-	79	0.92	-	-	9	0.45	-	-	-	-	3	0.30
愛知県	-	-	5	0.03	-	-	52	0.29	-	-	14	0.40	-	-	-	-	1	0.08
三重県	-	-	3	0.07	-	-	29	0.64	-	-	1	0.08	-	-	1	0.11	2	0.22
滋賀県	2	0.06	1	0.03	-	-	39	1.18	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.29
京都府	1	0.01	1	0.01	-	-	33	0.43	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	11	0.06	1	0.01	230	1.18	1	0.02	18	0.37	1	0.07	2	0.13	-	-
兵庫県	3	0.02	3	0.02	-	-	95	0.74	1	0.03	26	0.74	3	0.25	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	-	-	-	-	37	1.06	-	-	5	0.56	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	38	1.23	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	6	0.32	-	-	2	0.11	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	6	0.26	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	-	-	-	-	51	0.94	-	-	8	0.67	-	-	-	-	11	2.20
広島県	-	-	2	0.03	-	-	75	1.00	-	-	22	1.10	-	-	1	0.05	5	0.26
山口県	-	-	6	0.12	-	-	61	1.24	-	-	7	0.78	1	0.11	-	-	4	0.44
徳島県	-	-	-	-	-	-	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	-	-	3	0.43
香川県	-	-	-	-	-	-	24	0.75	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	0.10	-	-	42	1.08	-	-	13	1.86	-	-	-	-	6	1.00
高知県	-	-	8	0.26	-	-	7	0.23	-	-	6	2.00	-	-	-	-	6	0.67
福岡県	-	-	2	0.02	-	-	231	1.93	-	-	17	0.65	-	-	1	0.07	4	0.27
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	100	4.35	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	19	0.43	1	0.13	7	0.88	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	9	0.18	-	-	47	0.96	-	-	4	0.44	-	-	4	0.27	2	0.13
大分県	-	-	2	0.06	-	-	16	0.44	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	-	-	42	1.14	-	-	7	1.75	1	0.14	-	-	4	0.57
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	10	0.18	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	-	-	16	0.47	-	-	33	3.30	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年45週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	5	0.01	1	0.00	151
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	4
福島県	1	0.14	-	-	18
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	2	0.29	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	2	0.22	-	-	2
東京都	-	-	-	-	12
神奈川県	-	-	-	-	24
新潟県	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	1	0.09	1
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	14
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第45号 平成16年11月19日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。